

# 「院外心肺停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築に関する研究」 へご協力をお願い

—平成 26 年 6 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日までに

院外心肺停止にて当院救命救急センターを受診された患者様及びその御家族様へ—

研究機関名 福山市民病院

責任研究者 京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター 准教授 石見 拓

分担研究者 福山市民病院 救命救急センター長 宮庄 浩司

福山市民病院 救急科 医長 石橋 直樹

## 1. 研究の目的

本邦では年間 7 万人を超える心臓突然死が発生しています。病院前救急医療の発展により、院外心停止例の社会復帰率は改善していますが、いまだに 8%程度と非常に低いものです。更なる社会復帰率向上のために、病院到着後の集中治療の効果が期待されますが、その治療実態と効果は明らかでなく効果的な治療法、適切な病院先選定基準は確立されておられません。

本研究では、院外心停止例の搬送先病院の治療体制及び、低体温療法などの病院到着後の集中治療に関するデータを全国で前向きに登録・分析し、『搬送先病院の選定基準、有効な集中治療など院外心停止の社会復帰率を向上させるための治療ストラテジを検討すること』を目的としております。

## 2. 研究の対象及び方法

### 1) 研究デザイン

前向き・多施設共同コホート研究

### 2) 研究対象

日本全国で発生した院外心停止例のうち、救急隊が蘇生処置を行い、登録医療施設（救命救急センターや救急医療期間）に搬送されたもの。

### 3) 主たるアウトカム

社会復帰（脳機能良好な状態での1ヶ月生存）

### 4) 測定項目

①病院前蘇生記録：目撃状況、居合わせたものによる心肺蘇生の有無、蘇生処置の時間経過、初期心電図波形等。

②搬送先病院の治療体制：病院の規模、救命センターか否か。心停止例への対応時の体制等。

③病院到着後の治療：低体温療法、体外循環といった集中治療の有無・方法と経過。

### 5) 研究期間

平成 26 年 6 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日

（永続的な実施を予定していますが、1 年毎に課題を検証。3 年毎更新）

### 6) 調査票等

ありません。

### 7) 情報の保護

① データの匿名化および連結可能性の有無

病院到着後のデータは、患者氏名ならびにその住所など個人情報を削除した状態でデータベース化します。ウツタイン記録と病院到着後のデータの連結は研究事務局が行い、対象者特定情報を削除し、新たな番号を付与して匿名化したデータを研究者に提供します。研究者において、データと個人識別情報を連結することはできません。

② 個人情報および個人データの取扱者の範囲

ウツタイン記録の個人情報は救急隊のみ、診療録の個人情報は病院医師のみが取り扱い、研究者は匿名化されたデータのみを扱います。

③ 資料の保管および処理方法

データは電子化されており、施錠できる部屋の特定のパソコンのみにおいて、パスワードを設定し保管します。また、研究成果公表後3年間保存し、その後判読不明な状態で廃棄致します。

**8) 研究等によって生ずる個人への不利益並びに危険性の予測**

行政資料ならびに病院診療録を用いた観察研究であるため、本調査による対象者に対する侵襲ならびに有害事象はありません。

この研究にご質問等がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。診療など病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはございません。

<問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 救命救急センター

氏名：石橋 直樹

電話：084-941-5151 ファックス：084-941-5159

JAAM 多施設共同 院外心肺停止レジストリ <http://www.jaamohca-web.com/>